

サトウ食品日本グランプリシリーズ 山口大会
 第17回 田島直人記念陸上競技大会
 兼 小学生中学生高校生育成強化陸上競技大会

申込締切
 9月7日

主催	山口陸上競技協会 読売新聞社 KRY山口放送
主管	山口陸上競技協会
後援	日本陸上競技連盟 山口県 公益財団法人山口県体育協会 京都大学陸上競技部蒼穹会 山口市 山口市教育委員会 岩国市 岩国市教育委員会 スポーツ報知西部本社 山口県実業団陸上競技連盟 中国四国学生陸上競技連盟山口支部 山口県高等学校体育連盟 山口県中学校体育連盟 山口県小学生陸上競技協議会
特別協賛	クスリ岩崎チェーン
協賛	田島直人記念陸上競技大会賛助会
日時	2020年10月18日(日) 9:30 競技開始
場所	維新みらいふスタジアム(維新百年記念公園陸上競技場) 山口市維新公園4-4 (TEL 083-922-2788)
競技種目	日本グランプリシリーズ 男子の部(GP8種目) 100m 300m 110mH 400mH 走高跳 走幅跳 三段跳 ハンマー投 女子の部(GP7種目) 100m 300m 100mH 400mH 走高跳 走幅跳 ハンマー投 高校生男子の部(2種目) 100m 4×100mR 高校生女子の部(2種目) 100m 4×100mR 中学生男子の部(4種目) 100m 1500m 4×100mR 砲丸投 中学生女子の部(4種目) 100m 800m 4×100mR 砲丸投 小学生男子の部(4種目) 100m 1000m 4×100mR 走幅跳 小学生女子の部(4種目) 100m 800m 4×100mR 走幅跳
参加資格	[グランプリの部] 2020年度(財)日本陸上競技連盟の登録者であり、2019.4.1~2020.9.7の間に別記標準記録に達し、競技会主催者が発行した記録証明書のあるもの。なお、 <u>記録証明書は、各県陸協発行のランキング表、大会リザルトなどにより代えることができる。</u> <u>フィールド・トラック種目共に大会運営上、参加人数を制限することがある。</u> 高校生・中学生でも標準記録を突破していれば出場ができる。 山口県の競技者は、山口陸上競技協会の推薦を経て出場ができる。 [高校生・中学生・小学生の部] 山口県高等学校体育連盟、山口県中学校体育連盟、山口県小学生陸上競技協議会が推薦する者。
参加制限	1人1種目とする。ただし、リレーは除くものとする。 <u>また、大会運営と競技時間の関係上、参加人数を制限することがある。</u> <u>その場合の参加料は返還する。</u>
招待選手	日本のトップクラスの選手を若干名招待する。
競技規則	2020年度日本陸上競技連盟競技規則による。

参加料

区分	GPの部	GPの部 高校生・中学生・小学生の部		
	一般・大学生	高校生	中学生	小学生
1人	3,000円	1,000円	1,000円	800円
リレー	-	3,000円	3,000円	2,000円

- (1) 招待競技者は、招待された種目に限り不要とする。
 (2) 参加料は、理由の如何にかかわらず返金しない。

申込方法等

- (1) 申込期日 2020年9月7日(月) 必着
 (2) 郵送及び振込先

〒753-0815 山口市維新公園4丁目4番 維新百年記念公園陸上競技場内 (財)山口陸上競技協会 事務局
口座番号 01360-3-100794 振込先 一般財団法人山口陸上競技協会 振込用紙に大会名、所属名・参加人数・振り込み金額を明記すること。 振込用紙(青)は郵便局備え付けを使用すること。(振り込み手数料が必要) 金融機関からの振込 ゆうちょ銀行 (コード)9900 (店番)139 (店名)一三九店(イサンキョウ店) 当座 0100794 振込先 一般財団法人山口陸上競技協会

- (3) 申込方法 参加資格欄を参照して記入のこと。
 山口陸上競技協会ホームページより申し込み、印刷された申込書及び、記録証明書に準ずるもの(リザルト等)、参加料振込の領収書コピーを必ず、まとめて郵送すること。
 山口陸上競技協会申込先アドレス yaafentry@yaaf.jp
 陸上山口の大会申込み方法をよく読んで申し込むこと。(不明な点は上記事務局まで)

表彰

[グランプリの部]

- 三段跳 優勝者:「田島杯」レプリカ・メダル・賞状 2位、3位:メダル・賞状
 走幅跳 優勝者:「田島杯」レプリカ・メダル・賞状 2位、3位:メダル・賞状
 他の種目 1位~3位:メダル・賞状

[高校生・中学生・小学生の部]

- 各種目 1位~3位:メダル・賞状 4位~8位:賞状

その他

- 競技日程は、参加申込締切後プロ編会議で決定し、ホームページ(<http://yaaf.jp>)に掲載する。
- 競技中に発生した事故についての応急処置は主催者で行うが以後の責任は負わない。
- 申込後、参加を取り止める場合、速やかにその事由を文書を以って事務局に届けること。
- 参加者は健康保険証を必ず持参すること。
- アスリートビブス、プログラムの配布は、当日受付時に維新みらいふスタジアム(維新百年記念公園陸上競技場)の所定の場所で行う。
- 競技者の衣類・バッグ等の商標については、「競技会における広告および展示に関する規程」による。
- 医事関連

(1)ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

(3) 18歳未満競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

本大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は <http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf> からダウンロード出来る。

18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(陸連医事代表)に提出すること。提出は1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

8. 大会前日(10月17日)の練習については、維新みらいふスタジアム(維新百年記念公園陸上競技場)は9時から17時まで、同補助陸上競技場は、9時から16時までとする。

(種目により時間制限有り)

9. 大会参加が認められた後に欠場する場合、本大会の権威を保つため必ず「欠場届」を提出すること。

10. 本大会に関する問い合わせは、上記記載事務局まで。

11. 申し込みに関する個人情報は、大会プログラムへの掲載、記録発表等本大会に関するものだけに使用し、他の目的に使用することはありません。ただし、大会に関する映像・写真・記事・個人記録(氏名・年齢・性別・肖像など)などが新聞・テレビ・ラジオ・DVD・インターネット・上映・大会プログラムなどに報道・掲載・利用されることを承諾したものとします。また、掲載権・使用权は主催者に属します。尚、主催者は、個人情報の重要性を認識するとともに、個人情報の保護に関する法律及び関係法令を厳守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱います。

12. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

以下のとおりとするので、厳守のこと。

「新型コロナウイルス」対策関連【重要】

新型コロナウイルスの感染リスクを軽減させるため、次のとおり対応すること。

また、これを遵守できない者には、競技会に関わる全ての人の安全・安心を確保するため、大会の参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

1. 体調管理

「競技者」及び「チーム関係者」全ての者は、大会1週間前から「様式【大会前・提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(以下「体調管理チェックシート」という。)」を記入し、大会当日、「選手受付」に提出する。(チーム・学校の場合は、代表者がまとめて提出すること。また、提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身で保管すること。)

なお、大会当日(時点)3日前より、当該事項に該当がある場合は、自主的に参加を見合わせる。

「体調管理チェックシート」を提出しない競技者は、出場不可とする

また、健康状態が不確かな競技者は検温を行い、状況により参加を許可しないことがある。

2. 3密の回避

3密回避行動を常に心掛け、周囲の人となるべく距離(できるだけ2m最低1mを目安・以下「ソーシャルディスタンス」という。)を空けること。(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

ウォーミングアップは個別に行うこと。

更衣室の滞在は短時間にする。 (シャワールームの使用は原則禁止とする。)

上記「体調管理チェックシート」の提出のあった者の競技場客席(スタンドなど)への入場は、「競技場東側」の大階段のみとする。(「体調管理チェックシート」の提出のない者は「競技場西側」の大階段とする。)

競技場2Fのコンコースで待機等をする者は必要最小限(マッサージを受ける者等)とし、間隔を十分に取ること。
(通常の待機等は競技場客席(スタンド等)を使用)

大きな声での会話や応援(特に集団での応援)をしないこと。マスクを着用のこと。

集団での写真撮影は避け各々で撮影すること。

3. 感染症対策

各自の責任で、手洗い、うがい、洗顔、マスク着用を徹底すること。

・競技終了後は、直ちに「第1ゲート外側の階段を上がった先のトイレ(手洗場)」で、手洗い、うがい、洗顔(マイタオルを使用すること)を行うこと。特に、競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をすること。

マスクの着用について

・競技(試技)中のマスクの着用は必要ない。(ウォーミングアップ中も同様)

・招集中・移動中・待機中はマスクを着用するよう心がけること。(ソーシャルディスタンスが確保できている場合の着用は必要ない。)

・マスク着用による熱中症に気をつけること。

運動中につばや痰(タン)を吐くことは極力行わないこと。

飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てないこと。

体液(汗等)の付着したゴミは自己責任で処理すること。(基本的に持ち帰り)

4. その他

マイマスク・マイタオルを持参すること。

体調に異変を感じたら、直ちに医務員に相談すること。

大会終了後、「様式【大会後・個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」により2週間の体調管理・検温を行うこと。【提出の必要はありません。】

参加者は症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの開催自治体の衛生部局に報告し、大会主催者に報告すること。

大会主催者の免責事項

・大会主催者が加入する保険は、「競技者」及び「大会/競技役員」、「補助員」の「傷害」及び「熱中症」に係る補償です。

・大会主催者は競技会に関する全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

コロナウイルス感染が確認された場合等、大会を縮小又は、中止する場合があります。

(別記) 標準記録(グランプリの部)

種 目	男 子	女 子
100m	10 55	12 20
300m	35 20	42 60
110mH	14 40	-
100mH	-	14 30
400mH	52 00	1'01 20
走高跳	2m05	1m65
走幅跳	7m60	5m75
三段跳	15m50	-
ハンマー投	56m00	46m00

300mについては、下記の記録も認める。

男子 200m・21 20 400m・47 50 女子 200m・24 70 400m・56 00